

太宰治生誕 100 年記念講演会

「ひとこと余計な太宰治」

《太宰治という作家。その実人生がスキャンダラスでインパクトの強いものであったため、作品もその強烈な個性と重ねて読まれることが多い。しかし、そんな太宰治とて、他のあらゆる人間と同様、時代の子であった。そこで、今回は、実人生はしばらくのあいだカッコの中に入れて、太宰治の作品そのものを、文学史や同時代の状況を踏まえながら瞥見してみたい。その際、「A」と言ったあとで、それを打ち消す「非 A」を付け加えずにはられない、「ひとこと余計な」言葉を語らずにはられない、というところに太宰文学の一つの要点を探ってみることになるだろう。》



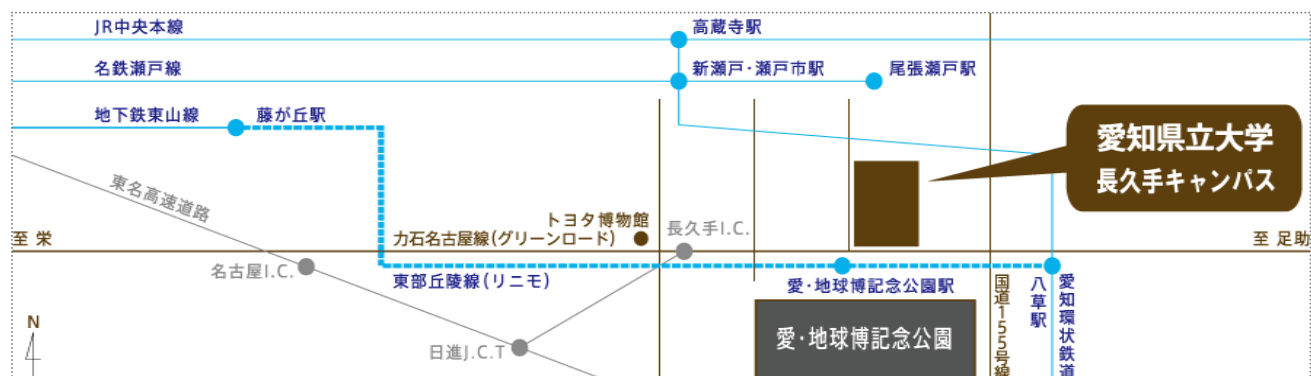
山口俊雄准教授

講師 山口俊雄氏 (愛知県立大学日本文化学部准教授)

日時 平成21年10月14日(水)午後2時30分から

場所 愛知県立大学長久手キャンパス
学術文化交流センター2階小ホール

※事前申込み不要(入場無料)。お越しの際には公共交通機関をご利用ください。
リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分



主催:愛知県立大学学術情報センター 0561-64-1111(代) 内線 5754 <http://www.aichi-pu.ac.jp/library/>
※長久手キャンパス図書館1階フロアでは関連展示「デザインム-100年目の太宰治-」展示中(2009.10.16まで)